平成 26 年度　動物実験に関する現況調査票

昭和大学

平成 27 年 6 月

Ⅰ．動物実験に関する組織

機関長	職名　学長　　氏名　小出　良平		
事務担当者	職名　　総務部総務課課長		
同　連絡先	TEL 03-3784-8011	FAX 03-3784-8012	e-mail soum@ofc.showa-u.ac.jp
動物実験委員会委員長	職名　医学部　教授　氏名　泉﨑　雅彦　（生体調節機能学）		
同　委員	職名　医学部　教授　氏名　大塚　成人　（解剖学）		
同　委員	職名　医学部　教授　氏名　田中　和生　（微生物学）		
同　委員	職名　医学部（臨床）教授　氏名　土岐　彰　（外科学）		
同　委員	職名　医学部（臨床）教授　氏名　平野　勉　（内科学）		
同　委員	職名　歯学部　教授　氏名　桑田　啓貴　（口腔微生物学）		
同　委員	職名　歯学部（臨床）教授　氏名　代田　達夫　（顎口腔疾患制御外科学）		
同　委員	職名　薬学部　教授　氏名　本田　一男　（生体制御機能薬学）		
同　委員	職名　薬学部　教授　氏名　原　俊太郎　（社会健康薬学）		
同　委員	職名　保健医療学部　教授　氏名　浅野　和仁　（生理学）		
同　委員	職名　保健医療学部　教授　氏名　石野　徳子　（看護学）		
同　委員	職名　教育部　教授　氏名　倉田　知光　（薬理学）		
同　委員	職名　共同施設　准教授　氏名　荒田　悟　（実験動物学）		

委員の数に応じて、表の行を増やしてください。

Ⅱ．機関における動物実験の概要

１．　動物実験を行う主たる研究分野

２．

☑ 医歯薬学分野　　□ 畜産・獣医学分野

□ 生物科学分野　　□ 理工学分野

□ その他（　　）

２．年度ごとに使用した実験動物の種類と概数

動物種	概　数				
	２２年度	２３年度	２４年度	２５年度	２６年度
マウス	14,025	12856	12242	13280	12341
ラット	1953	2037	1679	1048	953
ウサギ	16	15	21	13	14
モルモット	45	61	70	108	81
スナネズミ	0	0	0	0	0
イヌ	0	0	0	0	0

動物種の数に応じて、表の行を増やしてください。

３．年度ごとの承認された動物実験計画数

動物実験計画数	２２年度	２３年度	２４年度	２５年度	２６年度
	411 件	396 件	348 件	298 件	313 件

４．年度ごとの動物実験に関する教育訓練の受講者数

教育訓練受講者数	２２年度	２３年度	２４年度	２５年度	２６年度
	124 人	147 人	126 人	116 人	192 人

５．実験動物飼養保管施設の現況

施設の名称	管理者の職・氏名	実験動物管理者の職・氏名（関連資格・経験年数）	動物種	最大飼養頭数（概数）
昭和大学動物実験施設	教授・泉﨑　雅彦	准教授・　荒田　悟 （施設管理年数 12 年）	マウス ラット ウサギ モルモット イヌ	9,500 1,800 80 200 12
昭和大学動物実験施設（分室）;P1A 6 室、P2A 2 室	教授・泉﨑　雅彦	准教授・荒田　悟 （施設管理年数 12 年）	マウス ラット	980 200

飼養保管施設の数に応じて、表の行を増やしてください。

６．特記事項

（動物実験に関連した、機関の特徴や特殊事情）

昭和大学は、医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部からなる医系総合大学である。全学部の動物実験における計画書の審査、実験の把握、終了報告書の管理等は、本学の動物実験委員会が学長の諮問を受けて担当している。旗の台キャンパスの動物実験施設では、本学のほぼすべての動物実験が行われている。飼養保管施設は旗の台キャンパス 1 号館の動物実験施設（繁殖を含む）が主な施設であるが、旗の台キャンパスの研究室等に P2A 2 室、P1A 4 室、富士吉田キャンパス、横浜キャンパスに学部実習のための小規模の飼養保管施設（P1A）、計 8 つのマウスまたはラットの飼養保管施設（繁殖は行わない）がある。これらすべての施設は、動物実験施設の分室として一元的に管理している。長所としては、学内における動物実験の透明性が確保されており、遺伝子組換え実験や感染実験を把握するバイオセーフティ委員会との連携が密であることから、問題点の洗い出しやその対応が迅速に行える。問題点としては、計画書の審査件数が毎年 300 件程度と膨大になること、また、動物実験が多種多様であり充分な実験スペースの確保が難しいことが挙げられる。